

## 「令和7年度第2回高知県食の安全・安心推進審議会」

開催日時：令和8年1月26日（月）14：00～16：30

場所：公立学校共済組合高知宿泊所 高知会館 白鳳

委員氏名：佐竹委員、山下委員、津野委員、久委員、勝正委員、元吉委員、中山委員、  
中村委員、松岡委員、西村委員、近藤委員、足立委員、山本委員

議題：次第参照

---

### 1 開会

- ・委員17名中13名の出席で審議会成立。

### 2 健康政策部長挨拶

### 3 議事

(1) 第4次高知県食の安全・安心推進計画に基づく今年度の取組について

- ・事務局より資料について説明。
- ・各担当課から資料2について説明。

### ◇審議

#### 委員

新聞に掲載されていた新たな漁港の整備について、鮮度管理等はどのようになるのか。

#### 水産政策課

室戸市の複数の市場では老朽化が深刻であるが、全ての市場を新食品衛生法の施設基準を満たす形で開設することは不可能であり、拠点市場として集約する形で協議がすすめられている。それにより各漁港と拠点市場の距離が長くなるものの、現在の市場における荷捌き施設、冷海水装置、製氷機等を整備し、漁獲物の鮮度を保持するという運用は変わらないと認識している。

#### 委員

①資料8ページの水産業振興課の報告で4地区の取り組みが紹介されているが、これは大きいところだけではなく、数多くある小さい市場も指導されており、代表的なものを紹介しているという認識でよいか。

②物価高騰の中、学校給食は決められた予算内でどのように対応されているのか。

#### 水産業振興課

①県内には室戸、中央、土佐清水、宿毛それぞれに漁業指導所があり、漁協をはじめ

とする各事業者や地域を回りながら指導を行っている。

#### **保健体育課**

②市町村の状況の把握はしていないが、デザートを既製品から手作りに変える、地域の食材で安価なものに変更して代用する等、様々な工夫をしながら取り組んでいただいているところである。

#### **委員**

貝毒のモニタリングについて、下痢性貝毒は近年西日本における発生もみられるが、原因プランクトンのモニタリングはどのような監視体制がとられているのか。また、種類により毒量も異なるが、ディノフィシスの種類まで特定されているか。

#### **水産業振興課**

浦戸湾、浦ノ内湾、野見湾、宿毛湾において、下痢性貝毒の原因プランクトンとして、ディノフィシスの調査を毎月実施している。なお、ディノフィシス属として見ており、種類の特定まではできていない。

#### **委員**

①資料1 ページにある農薬取締法違反による出荷の自粛1件について、詳細と対策を聞きたい。

②資料16 ページについて、土佐の料理传承人の認定が始まってだいぶ経つが、技術の継承や人材育成はどうか。

#### **環境農業推進課**

①自主検査にて、カイラン菜から当該野菜に登録がない農薬が検出された。この事例では、隣の畑で栽培されていたキャベツに使用した農薬が飛散したと考えられ、注意喚起を行っている。合わせて、農薬の飛び散りにくい器具の使用や、同じ時期に異なる種類の農薬を使用しなくてよい栽培サイクル等のお願いをしている。

#### **農産物マーケティング戦略課**

②土佐の料理传承人の取組として年3、4回の講座を開催し、地元の方を中心に教員等も参加され、子どもへ伝承料理について伝えてもらうということをしている。確かに制度自体が長くなってきて传承人として活動いただいている方の高齢化が進んでおり、こういった取組等を通じて新たに郷土料理に興味関心をもち、地元で引き継いでいただけるようにと考えている。

#### **委員**

資料13 ページについて、民間認証取得に向けたセミナーの開催ということだが、各認証について県内でどれぐらいの企業が取得しているのか、またどれぐらいの数を目標とするのか教えてほしい。

## 地産地消・外商課

県内における取得数が多いのは JFS-B だったかと記憶している。それぞれの企業が目指す販路、輸出相手国によって求められる認証制度が異なるため、それに合った認証取得を推進しており、数値目標としては定めていない。

後ほど、公表されている数字で把握しているものを提供する。

## 委員

①資料 3 ページの有機農業指導員の育成について、年齢構成はどうか。高知県は高齢化が進んでおり、若い人を中心にしていただけたらと思う。

②資料 8 ページのキハダマグロの体脂肪率調査について、これは付加価値を上げるという目的なのか、基準値があるのか。

③資料 17 ページの食育について、フレイル予防を目的にたんぱく質の摂取を増やすように普及されていると思うが、医療機関を受診した際に慢性腎臓病の方からそういったことを言われると聞く。腎不全に対しては、たんぱく質の摂り過ぎはよくない。食育の事業では様々な対象の方がいると思うので、腎臓の悪い方は医療機関でご相談ください等、コメントを添えてもらえるとありがたい。

## 環境農業推進課

①有機農業指導員の育成について、県の普及指導員を対象にしている。年齢構成については、確認して後日提出する。

## 水産業振興課

②前例として、室戸で水揚げされていた天然のブリを、一定以上の体脂肪率があるものは春ブリとして認定し、ブランド化した取り組みがある。キハダマグロも同様に、付加価値を上げることを目的に、現在はその基準を設定するためのデータを収集している段階である。

## 保健政策課

③いろんな方がその場にいらっしゃるということ意識して、伝え方を考えていきたい。

## 委員

資料 18 ページについて、今後の取組で朝食摂取の研究指定校を 3 校設定するとあるが、どういう基準で選ばれるのか。

## 保健体育課

県下で公募し、手を挙げた市町村から 3 校選出している。

## 委員

①資料 8 ページについて、中央地区におけるルミテスター検査で衛生管理による改善

がみられるとのことだが、数値的にどのぐらい違うのか。

②資料 17 ページについて、食育イベントにおいて若い世代は啓発のみ、高齢者はアンケートまで実施というところで、ポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチを区別してされているのか。人数比はどうか。

③資料 18 ページについて、国の HP で学校給食週間における各県の取組が掲載されているが、高知県はなかった。今後、公開等の予定はあるか。

④資料 19 ページについて、工業技術センターへの相談件数が 451 件とあるが、例えば高知県ならではの内容に偏っている等、どういった内容が多いのか。

### 水産業振興課

①例えば、令和元年に市場のカゴや計量はかりで 2 万ぐらいあったものが、令和 5 年頃には 300 とか 2 桁まで減っているような状態である。現在は、まだ改善されていないものを重点的に検査している。

### 保健政策課

②アンケートをすることでたんぱく質の摂取が必要という部分をやりとりしながら再確認したり、現状把握という意図から実施している。令和 6 年度のアンケートからは、十分なたんぱく質摂取ができているという結果が出ている。

また、食育イベントの参加者は令和 6 年度の実績において、若い世代向けが 2,300 人程度、高齢者世代向けが 1,500 人程度となっている。

### 保健体育課

③全国学校給食週間の実施については、文部科学省からの通知を各校に周知して取り組んでいただいている。しかし、取組にあたっての報告については、県として集約できていない。

### 工業技術センター

④他県と比較しようがないが、高知県ならではのいう内容ではない。苦情対応、取引先から求められる分析、何かこういう情報がほしい等が挙げられる。地産外商において品質の安定性が問題になるので、そういった対応への相談が大きい。

## 4 報告

### (1) 分科会報告

- ・薬務衛生課から資料 3-1、保健体育課から資料 3-2 について説明。
- ・座長よりコメント。

## 5 閉会

### ◇連絡事項

- ・来年度は「第 5 次高知県食の安全・安心推進計画」の策定作業がひかえており、第 1 回審議会は 9 月頃を予定。